

10月の出水について

今年の10月は相次ぐ台風や秋雨前線などの影響で大雨が続きました。

三春ダムでは5日、9日、20日から21日にかけて、上流域の降雨によって洪水（三春ダムへの流入量が100m³/秒を超えたとき）が3回ありました。

洪水が発生したときは、ダムに一時的に洪水の一部を貯め、残りを流すことによって、下流の河川に流れる量を調節します。これにより洪水氾濫による被害などを防止、軽減します。

秋雨前線の影響で3日7時から降り始めた雨は、流域平均で時間最大9.9mmを観測しました。5日の15時にダムへの流入量が100m³/秒を超え、洪水調節を開始し、最大流入量110m³/秒を記録したとき、ダムからは60m³/秒の放流を行いました。ダムには50m³/秒の水を貯めて、下流の大滝根川や阿武隈川の流量を調節しました。

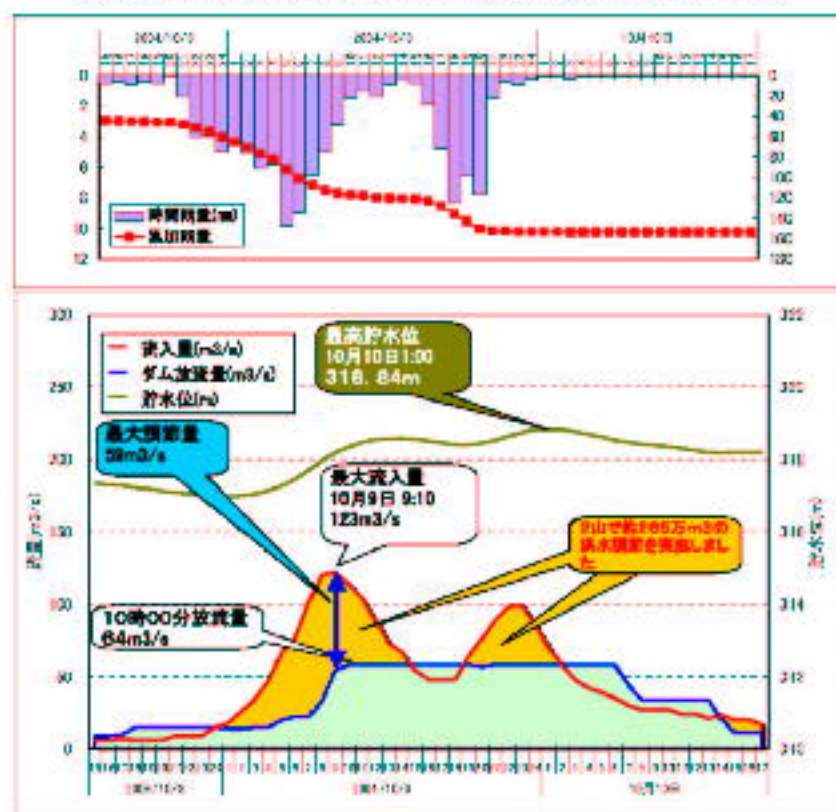


阿武隈川 10月21日撮影
阿久津（水位観測）地点出水状況

8日には台風22号が北上し、前面にある秋雨前線も北上して9時10分には123m³/秒のダム流入量を記録、その後一旦小康状態となった後、台風本体の接近で22時にも洪水流量を上回るといった2山出水となりました。台風22号による降雨では約265万m³の洪水調節を行いました。【図-1】

台風23号の接近では、前線の活動も活発になり、福島県は大雨となりました。三春ダムの流域では19日19時より雨が降り始め、総量で134mmを記録しました。台風の影響でダムへの流入量は最大で162m³/秒を記録、ダムからは最大で61m³/秒の放流、また21日3時30分からはダム放流量を0m³/秒として、全量をダムに貯める操作を14時まで実施しました。台風23号による出水では約727万m³の水をダムに貯め、ダムの効果として阿武隈川阿久津地点で最高水位時に約39cmの水位低下させることができたと推定されます。

台風22号による降雨に関する三春ダムの洪水調節結果について



【図-1】

さくら湖自然環境フォーラム2004開催

第5回 さくら湖自然環境フォーラム2004が11月25日(木)三春町自然観察ステーションで開催されました。

今回は『大滝根川流域の過去と未来』をテーマに大滝根川流域の小・中学生、三春ダム管理所 水質係、応用生態工学研究所による研究報告、パネラーそれぞれの立場から大滝根川の思い出や今後の美化活動について発表したパネルディスカッションと続きました。

また、福島県知事 佐藤 栄佐久氏による基調講演「福島

の環境と水管理」を頂くことができました。開会式に先立ち「水と緑の写真コンテスト」の表彰式も行われました。



水と緑の写真コンテスト
少年の部 推薦
佐久間 智生くん



研究報告する
三春町立中郷小学校
のみなさん



知事は「人間は自然の一部であり、自然と一体でなくてはならない」と環境保護の大切さを訴えました。

護岸補修工事と洪水期終了

管理係 高橋 良久

三春ダムが竣工してから6年経過しておりますが、既設護岸の一部が長年の波浪により浸食等影響を受けた箇所があり、補修工事を行うこととしました。工事時期は11月から予定しております。

補修工事はいつでも可能なんじゃない？と思われる方が多数かと。では、なぜ工事が10月からなのかをご説明します。

ダム周辺の工事で貯水位の影響を受ける場合は、洪水期(6月11日～10月10日)を避けて行います。洪水期とは前線や台風の影響により洪水が起こりやすい期間のことを言いま

す。洪水になり貯水位が上昇し、工事中的ところが流された！なんてことが無いように雨の少ない時期を選んで行います。

そのため、12月まで貯水位をある程度下げた状態で管理していきます。いつもより貯水位が低いな～なんて三春通の貴方、来年の4月には十分貯水位が回復した状態に戻っていますので大丈夫です。(既往データより確認済)

台風23号による洪水が発生してまだまだ気が抜けない三春ダムでした。



「国家公務員健康週間」～めざせ「健康金メダル」～

国家公務員健康週間は、各機関が保健衛生に対する認識を新たにし、より一層の職員の健康の保持増進を図ることによって、公務能率の向上に資することを目的として行われ、毎年10月1日から1週間にわたりさまざまな行事が実施されてきました。

今年度は、ストレス対策及び生活習慣病等の予防・健康づくり対策として郡山国道事務所健康管理医による講話が行われたほか、健康づくり指導講習会としてインストラクターによる「健康リフレッシュ体操」が実施されました。ヘルスケアプランニングオフィスの遠藤ひろ子先生の指導のもと、約1時間半の間、ストレッチ、心拍数を少しだけ高める体操、ステップ等で心地よい汗を流した講習会となりました。また、遠藤先生の説明によると、日々の適度な運動の継続が心身のリフレッシュにつながるのと、今後の健康管理の参考となるお話を聞くことができました。



「私のふるさと紹介」

【宮城県仙台市泉区】の巻 総務係 熊谷 卓也

今回は、実家のある宮城県仙台市泉区を紹介します。私は、生まれてまもなく父の仕事の関係で岩手県盛岡市に移りました。その後、福島県郡山市に1年ほどいて、幼稚園に入るころから高校時代までずっと泉区（当時は泉市でした）に住んでおりました。

今でこそ仙台市というと都会のイメージが出てきましたが、私が子供のころはかなり田舎だったと記憶しております。ただ、泉市立だった小学校が合併により仙台市立に変わったときには何となく「都会になってきたのかなあ」と思ったことを覚えています。

中学生になるころ現在の仙台市宮地下鉄が開業し、新しい回地が続々とできてきてベッドタウンとしての発展がめまぐるしくなりました。しかし、自然は豊富で、天気の良い日には実家からも眺められる標高1,172mの泉ヶ岳があります。山麓には少年自然の家やスキー場があり、小学生のころは登山やスキー教室などで訪れました。また、上流に七北田ダムがある七北田川のほとりにはサッカーチーム「ベガルタ仙台」のホームスタジアムがあり、休日になるとサポーターで賑やかになります。元々山だったところなのでゴルフ場も点在し、ニューワールドゴルフクラブ内には謎の大観音が立ち、市内を見守っております。

住んでいるときには感じませんでしたが、離れてみると適度に都会で適度に田舎の泉区はとても住みやすいところです。お暇などときにはベガルタ仙台の応援がてら足を運んでみてはいかがでしょうか。





ミ〜ちゃんさんくんの なぜ?なに?さくら湖

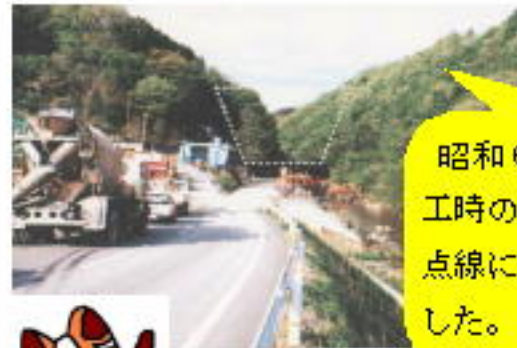


Q1 なぜ今の場所に三春ダムを造ったの?

A1 三春ダム建設のため、昭和43年に「予備調査」が始まりました。この「予備調査」は地質や地形・水質などを調べ、ダムを造るのに一番適した場所を決める調査です。さくら湖のある阿武隈山地の基礎岩盤は、花崗岩類です。ダムサイト付近に分布する花崗閃緑岩は、非常に硬堅であることから強度が高くダムの基礎としては良質な岩盤でした。西方渓谷は山が急で谷が狭く、地質も堅硬なため積み重ねるコンクリートの量も少なく済むため低コストでたくさんの水を貯めることが出来たからです。



昭和43年
「予備調査」の様子です



昭和63年ダム本体工時着工時の西方渓谷です。白い点線に三春ダムは造られました。



平成5年6月
ダム堤体工事の様子

11月の見学者

- 11月 4日 石岡市高浜舟溜維持管理会の皆さん
- 11月10日 郡山市東芳小学校のみなさん
- 11月15日 田川ダム建設促進期同盟会のみなさん
- 11月16日 郡山市立宮城中学校のみなさん
- 11月17日 郡山市富久山公民館クラブ親睦会
- 11月24日 都路村立岩井沢小学校のみなさん
- 11月27日 おもてごうキッズスクールのみなさん

10月の見学者

- 10月 8日 阿武隈川本築堤早期実現期成同盟会
- 10月15日 三春町立中妻小学校のみなさん
- 10月20日 三春町立三春小学校のみなさん
- 10月21日 三春町立御木沢小学校のみなさん



中妻小学校4年生
15名

10月26日 三春町中郷地区高齢者学級のみなさん

10月28日 福島市退職女性教職員あけぼの会の皆さん

自然観察ステーションからのお知らせ

12月10日(金)、18日(土) 星を見る会

“惑星や月などが観察できます”

(空が曇っている場合や、雨や雪が降った場合は中止になります)

12月12日(日) リース作り教室

“クリスマスに向けてリースを作ります”

12月19日(日) 凧づくり教室

“日本伝統の和凧を作ります。”

※前日までにステーションへ
連絡してください。



編集後記

この度、三春ダム管理所水質係 橋本さんの退職に伴い後を引き継ぐ事となりました。広報の仕事は始めてで毎日がワクワク・ドキドキの連続です。生まれも育ちも嫁ぎ先まで三春町で生涯この町から逃れられそうもありません。そんな三春町の歴史や文化、自然を多くの方にご紹介していきたいと思っておりますので、これからどうぞ宜しくお願いします。(石井)



編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字

中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>